TAIYO YUDEN

# 2021年3月期 第3四半期決算
# 連結業績概要

2021年2月8日

太陽誘電株式会社
経営企画本部長
佐瀬 克也

©TAIYO YUDEN 2017

## 決算サマリー

### 2021年3月期第3四半期 業績概要

- 売上高は812億円（前四半期比2%増）、営業利益は112億円で前四半期並み。
- スマートフォン向け、自動車向けの旺盛な需要が継続し、売上高、営業利益ともに11月時点の想定を上回った。
- 売上高と営業利益は、9か月累計ベースの過去最高を更新。

### 2021年3月期 業績予想

- 11月に発表した通期業績予想を上方修正。
- 売上高2,950億円（前期比5%増）、営業利益380億円（同2%増）を見込み、売上高、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益の過去最高更新を目指す。

©TAIYO YUDEN 2017
TAIYO YUDEN


**2021年3月期第3四半期 業績概要**
売上高は前四半期比2%増加の812億円、
営業利益は前四半期と同水準の112億円でした。

市場別では、第2四半期に続いてスマートフォン向けや自動車向けの需要が好調だったため、売上高、営業利益ともに11月時点の想定を上回りました。

その結果、9か月累計ベースで売上高と営業利益の過去最高を更新しました。

**2021年3月期 業績予想**
11月に発表した通期業績予想を上方修正しました。
売上高は前期から5%増の2950億円、営業利益は同2%増の380億円を目指し、達成すれば通期ベースでも過去最高を更新する見込みです。

## 新型コロナウイルス感染症の影響

当社の事業活動への影響は、ほぼ解消（2月8日時点）

**販売** 顧客企業の生産動向、各機器の最終需要などを注視。

**調達** 影響なし。一部サプライヤからの調達に支障はあったが、商流変更や在庫活用などで対応。

**物流** 一部で物流リードタイムの長期化や物流費の上昇などの影響が継続。代替便や代替ルートによる輸送で対応。

**生産** 6月以降、国内外全ての生産拠点が通常稼働。
3～5月の稼働制限で、第1四半期の売上高が70億円減少と推定。

| 国名 | 会社名 | 主な生産品目 | 稼働状況 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2020年5月12日時点 | 8月7日時点 | 11月9日時点 | 2021年2月8日時点 |
| フィリピン | TAIYO YUDEN (PHILIPPINES) | インダクタ | 稼働中（制約あり） | 通常稼働中（6月～） | 通常稼働中 | 通常稼働中 |
| マレーシア | TAIYO YUDEN (SARAWAK) | 積層セラミックコンデンサ | 稼働中（制約あり） | 通常稼働中（5月中旬～） | 通常稼働中 | 通常稼働中 |
| 日本、韓国、中国など | 上記以外 | ― | 通常稼働中 | 通常稼働中 | 通常稼働中 | 通常稼働中 |

©TAIYO YUDEN 2017


新型コロナウイルス感染症に関する状況は11月時点から大きな変化はなく、
当社の事業活動に対する影響はほぼ解消されています。

販売面では、顧客の生産活動は概ね正常な状態に戻っています。
引き続き、各社の生産動向や主要機器の最終需要などの情報を収集します。

調達活動には、大きな問題は発生していません。
一時期、調達に支障が生じた部材もありましたが、
商流変更や在庫活用などで対応しました。

物流については、以前より航空便が増える一方で貨物の流通量も増加しているため、
一部で物流リードタイムの長期化や物流費の上昇などの影響が続いています。
影響を最小化するため、代替便や代替ルートの利用などの対策を講じています。

生産においては、6月以降、国内外全ての工場が通常通り生産活動を続けています。
3～5月にフィリピンとマレーシアの子会社で稼働が制限されたことによって、
第1四半期には売上高が70億円減少したと推定していますが、
第2四半期以降、このような影響は発生していません。

## 連結業績概要（前四半期比）

| 百万円 | 2021年3月期 第2四半期 | | 2021年3月期 第3四半期 | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 79,728 | 100.0% | 81,226 | 100.0% | 1,497 | 1.9% |
| 営業利益 | 11,203 | 14.1% | 11,199 | 13.8% | △4 | △0.0% |
| 経常利益 | 10,812 | 13.6% | 11,422 | 14.1% | 609 | 5.6% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 6,900 | 8.7% | 8,383 | 10.3% | 1,483 | 21.5% |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 対米ドル期中平均レート | 106.82円 | 105.15円 | 1.67円円高 |
| 為替変動による影響額 | 売上高 △4億円、営業利益 △6億円 ※米ドル以外の通貨影響含む | | |

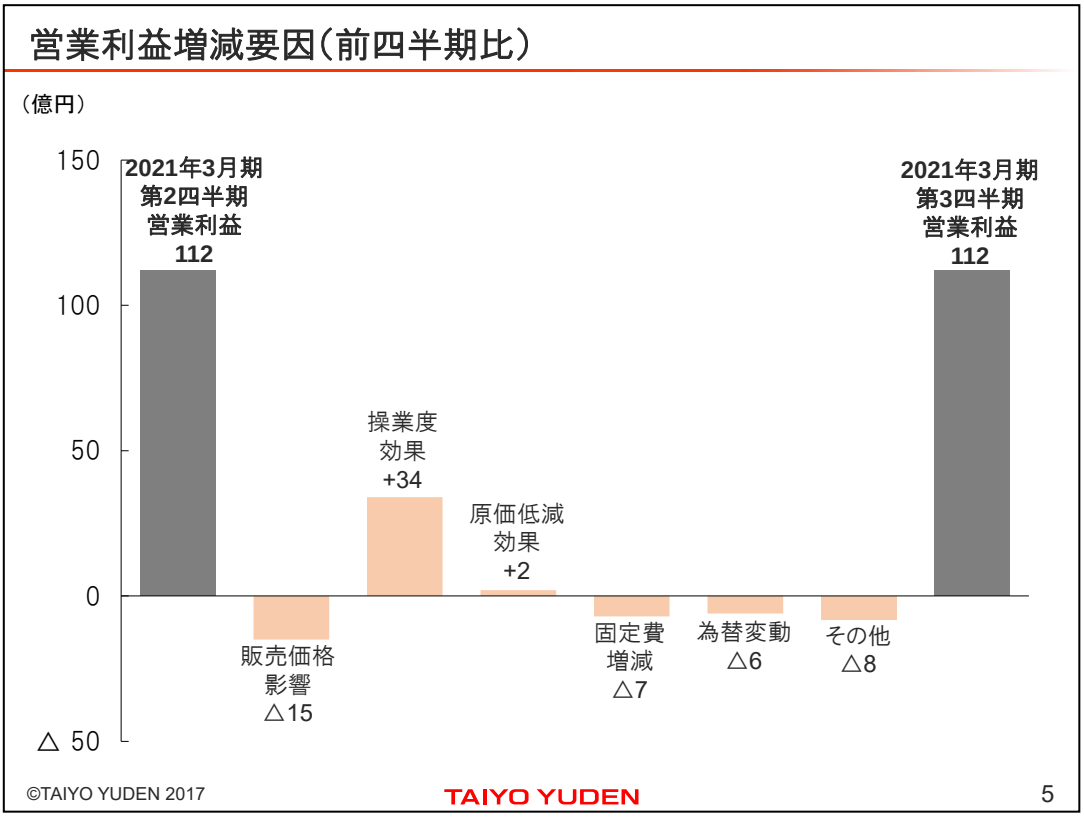
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 研究開発費 | 3,219 | 3,200 | △18 | △0.6% |
| 設備投資額 | 10,112 | 7,160 | △2,952 | △29.2% |
| 減価償却費 | 7,277 | 7,558 | 281 | 3.9% |

©TAIYO YUDEN 2017
TAIYO YUDEN


2021年3月期第3四半期の業績は、
売上高812億円、営業利益112億円、経常利益114億円でした。
第2四半期と比較すると特別損失が少なかったため、
親会社株主に帰属する当期純利益は22%増加し、84億円でした。

期中平均の為替レートは1米ドル105.15円で、
第2四半期に対して1.67円の円高でした。
これによる影響額は、売上高に対してマイナス4億円、
営業利益に対してマイナス6億円でした。
中国や韓国などのアジア通貨高により、
営業利益への影響の方がやや大きく出ました。

研究開発費は、前四半期とほぼ同水準の32億円でした。
設備投資額は前四半期より30億円少ない72億円、
減価償却費は3億円増加して76億円となりました。




営業利益の増益要因として、操業度効果が34億円ありました。
操業度効果には、販売数量増減やミックス改善、棚卸資産の増減などが
含まれています。
なお、12月末の全社の棚卸資産は、為替や利益に影響がない部分を除いた
実態ベースで9月末より19億円減少しました。
想定を上回る出荷に対応したため、棚卸資産は11月時点で予定していた
水準を下回っている状態です。
また、原価低減効果2億円も増益に寄与しました。

一方、減益要因は、販売価格の影響が15億円、固定費の増加が7億円、
円高による為替影響が6億円ありました。
その他の8億円とは、第2四半期まで一過性費用として特別損失に計上していた
新型コロナウイルス感染症に関連する費用を、
第3四半期より通常の費用として処理するよう変更したことによるものです。

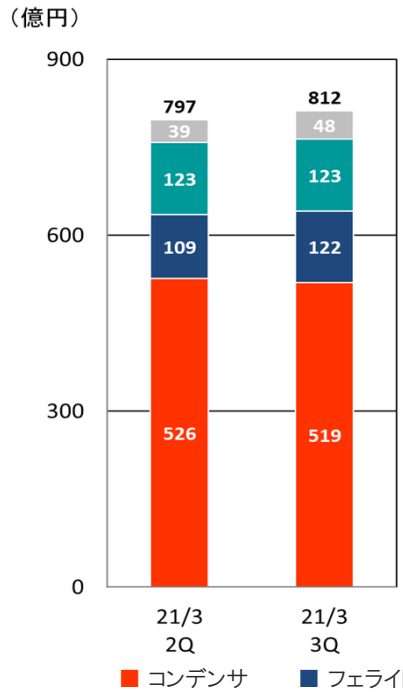
以上の増益要因と減益要因の金額がほぼ同額だったため、
営業利益は第2四半期と同水準の112億円となりました。

## 製品別売上高（前四半期比）

| 百万円 | 2021年3月期 第2四半期 | | 2021年3月期 第3四半期 | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| コンデンサ | 52,596 | 66.0% | 51,895 | 63.9% | △700 | △1.3% |
| フェライト及び応用製品 | 10,903 | 13.7% | 12,230 | 15.1% | 1,327 | 12.2% |
| 複合デバイス | 12,330 | 15.5% | 12,311 | 15.2% | △18 | △0.2% |
| その他 | 3,899 | 4.9% | 4,788 | 5.9% | 889 | 22.8% |
| 合計 | 79,728 | 100.0% | 81,226 | 100.0% | 1,497 | 1.9% |

©TAIYO YUDEN 2017

## 製品別売上高(前四半期比)




■ **コンデンサ** (前四半期比 △1.3%)
通信機器向け、自動車向けが増加したものの、情報機器向け、情報インフラ・産業機器向けが減少。

■ **フェライト及び応用製品** (前四半期比 +12.2%)
通信機器向けと自動車向けが増加。

■ **複合デバイス** (前四半期比 △0.2%)
通信デバイス(FBAR/SAW)、各種モジュールとも前四半期並み。

■ **その他** (前四半期比 +22.8%)
自動車向けのアルミニウム電解コンデンサが増加。

©TAIYO YUDEN 2017

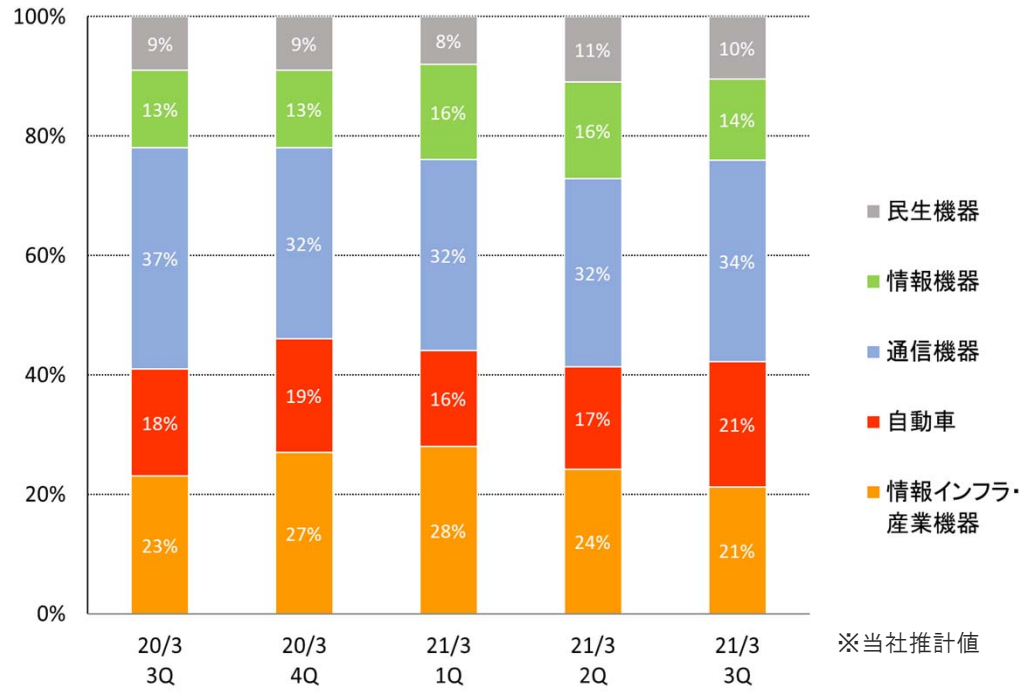

コンデンサの売上高は、前四半期からやや減少して519億円でした。
通信機器向け、自動車向けの売上が増加した一方で、
情報機器向け、情報インフラ・産業機器向けが減少しました。

フェライト及び応用製品の売上高は、前四半期比12%増の122億円でした。
通信機器向けの小型積層メタルインダクタと自動車向けが伸びました。
一方、民生機器向け、情報インフラ・産業機器向けは減少しました。

複合デバイスの売上高は、通信デバイス(FBAR/SAW)、各種モジュールとも
前四半期並みで、123億円でした。
なお、複合デバイスの売上に占める通信デバイスの割合は、約65%でした。

その他は、子会社であるエルナーの自動車向けアルミニウム電解コンデンサを
中心に売上を拡大し、前四半期比23%増の48億円でした。

## 用途分野別売上構成




©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN



用途分野別の売上構成比は、自動車向けが前四半期から4ポイント上昇し21%まで拡大しました。
電装化の進展による電子部品の需要拡大に対応し、着実に売上を伸ばしています。

情報インフラ・産業機器向けは、基地局通信装置などの需要が一時的に停滞したため、売上構成比は前四半期から3ポイント減少して21%でした。

スマートフォンなどの通信機器向けは34%、
パソコンやタブレット端末などの情報機器向けが14%、
ゲームやスマートウォッチなどを含む民生機器向けは10%でした。

TAIYO YUDEN

# 2021年3月期
# 連結業績予想

©TAIYO YUDEN 2017

## 2021年3月期 連結業績予想（前回予想比）

| 百万円 | 上期実績 | 前回予想 | | 今回予想 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 下期 | 通期 | 下期 | 通期 |
| 売上高 | 140,222 | 143,778 | 284,000 | 154,778 | 295,000 |
| 営業利益 | 19,126 | 14,874 | 34,000 | 18,874 | 38,000 |
| 経常利益 | 18,183 | 14,817 | 33,000 | 18,817 | 37,000 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 11,442 | 10,558 | 22,000 | 13,058 | 24,500 |
| 対米ドル期中平均レート | 107.22円 | 105.00円 | 106.11円 | 104.08円 | 105.65円 |
| 研究開発費 | 6,207 | 6,793 | 13,000 | 6,793 | 13,000 |
| 設備投資額 | 27,998 | 22,002 | 50,000 | 22,002 | 50,000 |
| 減価償却費 | 13,877 | 16,123 | 30,000 | 16,123 | 30,000 |

• 11月に発表した業績予想を上方修正。

©TAIYO YUDEN 2017


2021年3月期の通期業績予想は、
第3四半期までの実績と今後の需要予測等に基づき、
11月に発表したものから上方修正しました。

売上高は2,950億円、営業利益380億円、経常利益370億円、
親会社株主に帰属する当期純利益は245億円と予想しています。

第4四半期の為替レートは、1米ドル103円の前提です。
研究開発費、設備投資額、減価償却費の予想は変更ありません。

## 2021年3月期 連結業績予想（前期比）

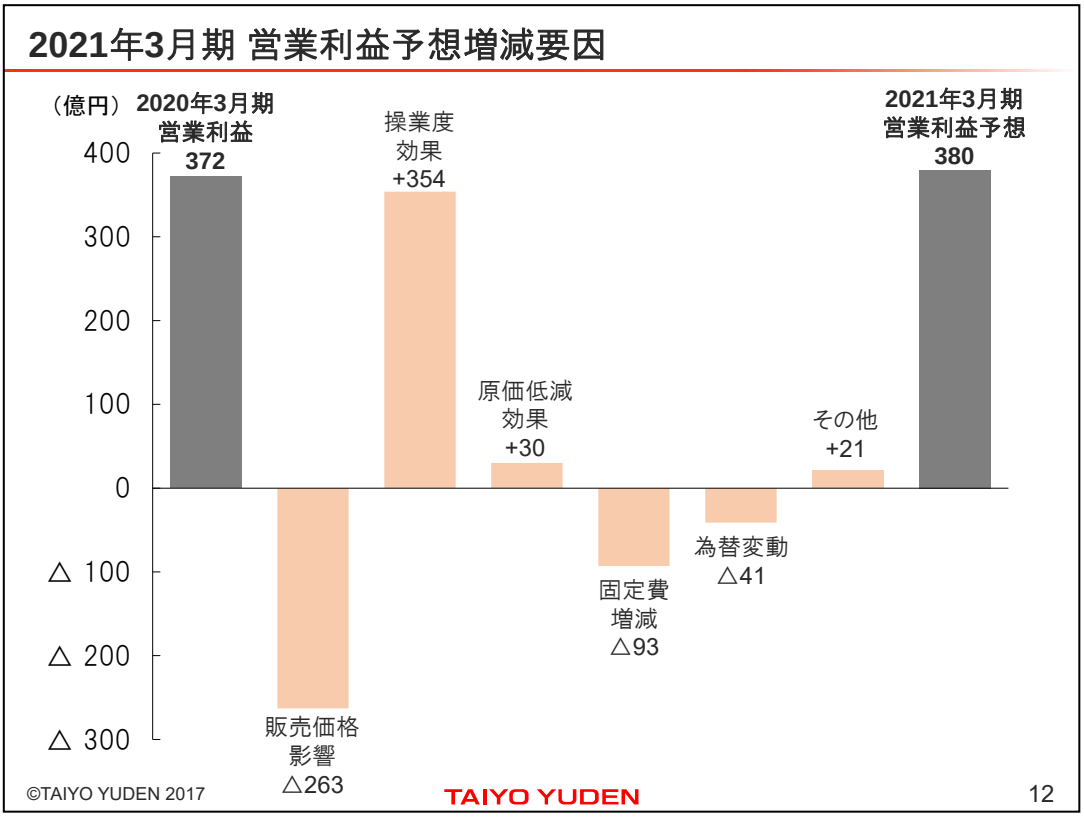
| 百万円 | 2020年3月期 | | 2021年3月期 予想 | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 282,329 | 100.0% | 295,000 | 100.0% | 12,671 | 4.5% |
| 営業利益 | 37,176 | 13.2% | 38,000 | 12.9% | 824 | 2.2% |
| 経常利益 | 35,165 | 12.5% | 37,000 | 12.5% | 1,835 | 5.2% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 18,022 | 6.4% | 24,500 | 8.3% | 6,478 | 35.9% |
| 対米ドル期中平均レート | 109.06円 | | 105.65円 | | 3.41円円高 | |
| 研究開発費 | 12,921 | | 13,000 | | 79 | 0.6% |
| 設備投資額 | 39,365 | | 50,000 | | 10,635 | 27.0% |
| 減価償却費 | 27,022 | | 30,000 | | 2,978 | 11.0% |

- 11月に発表した業績予想を上方修正。

©TAIYO YUDEN 2017
TAIYO YUDEN


前期比では、5%の増収と各段階利益の増益を見込んでいます。

今後も、新型コロナウイルス感染症や各国の通商問題などの影響を注視して
変化に対応していきます。
中期的な電子部品の需要は、5Gの普及や自動車の電装化などに伴って
拡大が続くという見方に変化はありません。
需要増に対応するため、最先端商品、高信頼性商品の生産・販売拡大に
注力していきます。




今期の増益要因として、販売数量の増加等による操業度効果を
354億円見込んでいます。
3月末の棚卸資産は、前期末に対して27億円増加させる計画です。
このほか、原価低減効果30億円とその他21億円が増益要因です。

減益要因は、販売価格の影響263億円、固定費の増加93億円、
為替変動による影響41億円です。

その結果、営業利益は前期に対して8億円増加し、380億円となる見込みです。

## 2021年3月期 製品別売上高予想（前回予想比）

| 百万円 | 上期実績 | 前回予想 | | 今回予想 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 下期 | 通期 | 下期 | 通期 |
| コンデンサ | 92,672 | 95,828 | 188,500 | 99,828 | 192,500 |
| フェライト<br>及び応用製品 | 18,831 | 19,169 | 38,000 | 21,169 | 40,000 |
| 複合デバイス | 21,406 | 21,094 | 42,500 | 24,594 | 46,000 |
| その他 | 7,312 | 7,688 | 15,000 | 9,188 | 16,500 |
| 合計 | 140,222 | 143,778 | 284,000 | 154,778 | 295,000 |

©TAIYO YUDEN 2017


通期の製品別売上高予想は、コンデンサが1,925億円、
フェライト及び応用製品は400億円、複合デバイスは460億円、
その他は165億円で、いずれも11月時点の予想から上方修正しました。

なお、第4四半期の各製品の売上イメージは、第3四半期に対して
コンデンサが8%減、フェライト及び応用製品は27%減、
複合デバイスは第3四半期並みの水準、その他は8%減を予想しています。
全社合計では、10%減少する想定です。

## 2021年3月期 製品別売上高予想（前期比）

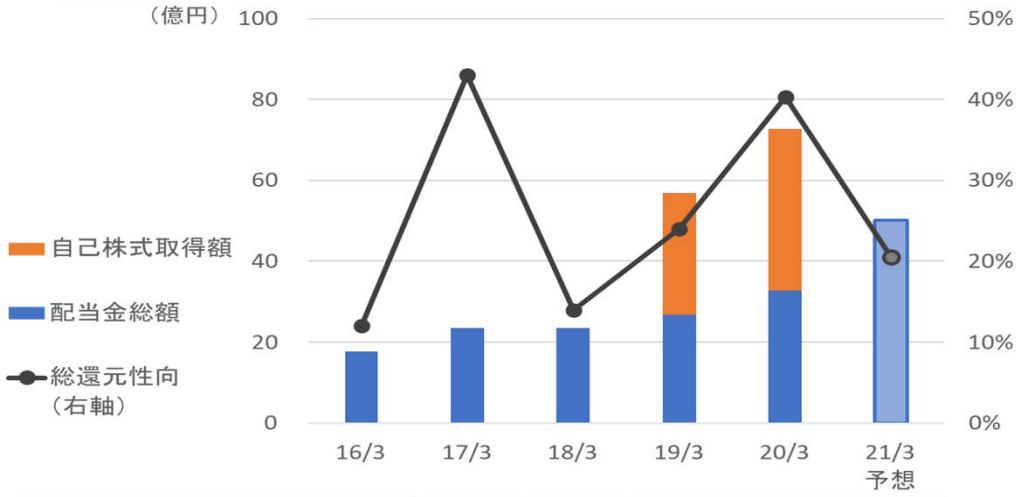
| 百万円 | 2020年3月期 | | 2021年3月期 予想 | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| コンデンサ | 176,457 | 62.5% | 192,500 | 65.3% | 16,043 | 9.1% |
| フェライト及び応用製品 | 38,770 | 13.7% | 40,000 | 13.6% | 1,230 | 3.2% |
| 複合デバイス | 49,808 | 17.6% | 46,000 | 15.6% | △3,808 | △7.6% |
| その他 | 17,292 | 6.1% | 16,500 | 5.6% | △792 | △4.6% |
| 合計 | 282,329 | 100.0% | 295,000 | 100.0% | 12,671 | 4.5% |

©TAIYO YUDEN 2017


前期比では、コンデンサが9%増、フェライト及び応用製品が3%増、
複合デバイスは8%減、その他は5%減で、
全社では5%の増収となる見込みです。

## 株主還元

増配　期末配当予想を15円→25円（年間40円）に修正




| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1株当たり年間配当金(円) | 15 | 20 | 20 | 21 | 26 | 40 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 125.27 | 46.08 | 138.80 | 189.93 | 143.04 | 195.19 |

**安定的な総還元性向30%の実現を目指す**

©TAIYO YUDEN 2017
TAIYO YUDEN


期末の配当予想を15円から25円に修正し、
年間配当は前期から14円増配の40円とする予定です。

当社は、株主の皆様への利益還元の充実を経営の最重要課題のひとつと
位置付けています。
今後も、将来の成長のための設備投資や研究開発などを行いつつ、
総還元性向30%を安定的に実現することを目指してまいります。

TAIYO YUDEN

# 補足資料

©TAIYO YUDEN 2017

## 連結業績概要(前年同期比)

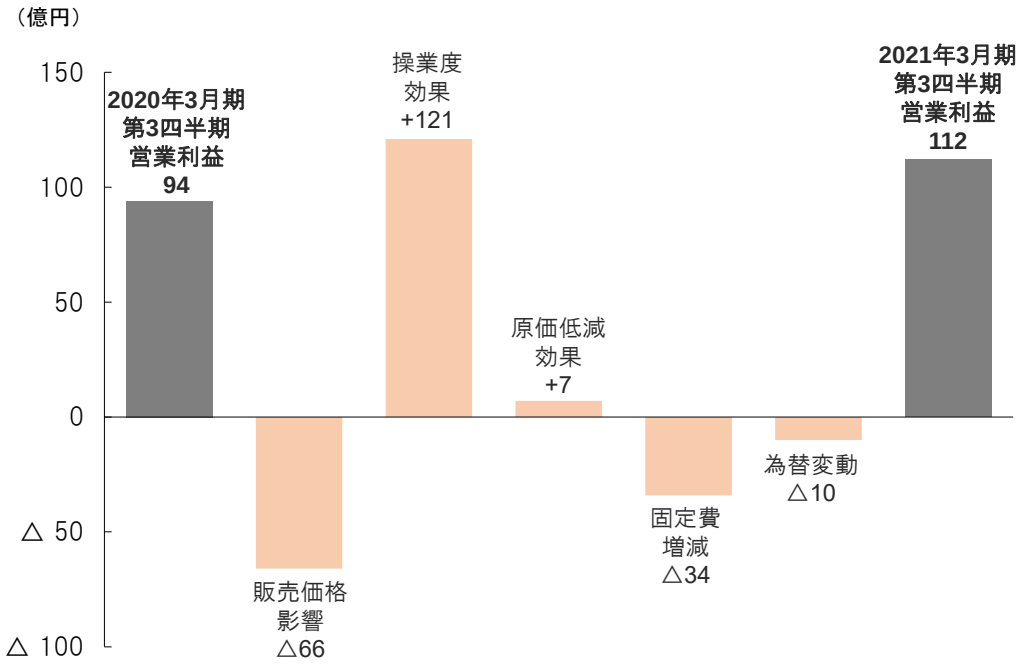
| 百万円 | 2020年3月期 第3四半期 | | 2021年3月期 第3四半期 | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 72,187 | 100.0% | 81,226 | 100.0% | 9,039 | 12.5% |
| 営業利益 | 9,446 | 13.1% | 11,199 | 13.8% | 1,752 | 18.6% |
| 経常利益 | 9,152 | 12.7% | 11,422 | 14.1% | 2,269 | 24.8% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,666 | 6.5% | 8,383 | 10.3% | 3,716 | 79.7% |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 対米ドル期中平均レート | 108.17円 | 105.15円 | 3.02円円高 |
| 為替変動による影響額 | 売上高 △10億円、営業利益 △10億円 ※米ドル以外の通貨影響含む | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 研究開発費 | 3,200 | 3,200 | △0 | △0.0% |
| 設備投資額 | 7,326 | 7,160 | △166 | △2.3% |
| 減価償却費 | 6,734 | 7,558 | 824 | 12.2% |

©TAIYO YUDEN 2017

# 営業利益増減要因(前年同期比)




©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

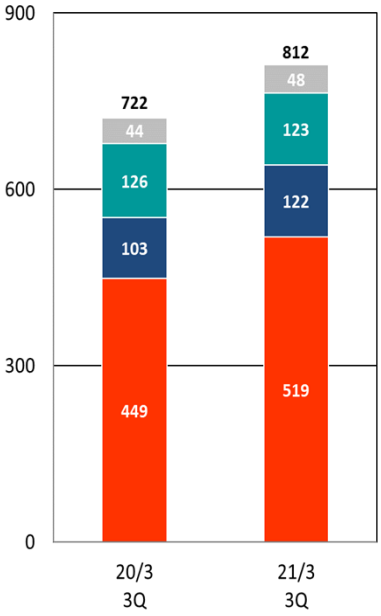
# 製品別売上高(前年同期比)

| 百万円 | 2020年3月期 第3四半期 | | 2021年3月期 第3四半期 | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| コンデンサ | 44,907 | 62.2% | 51,895 | 63.9% | 6,988 | 15.6% |
| フェライト及び応用製品 | 10,303 | 14.3% | 12,230 | 15.1% | 1,926 | 18.7% |
| 複合デバイス | 12,621 | 17.5% | 12,311 | 15.2% | △309 | △2.5% |
| その他 | 4,354 | 6.0% | 4,788 | 5.9% | 433 | 10.0% |
| 合計 | 72,187 | 100.0% | 81,226 | 100.0% | 9,039 | 12.5% |

©TAIYO YUDEN 2017

# 製品別売上高(前年同期比)

(億円)




■ **コンデンサ** (前年同期比 +15.6%)
民生機器向けや情報機器向け、自動車向けを中心に増加。

■ **フェライト及び応用製品**(前年同期比 +18.7%)
通信機器向けを中心に全体的に増加。

■ **複合デバイス** (前年同期比 △2.5%)
各種モジュール、通信デバイス(FBAR/SAW)などが減少。

■ **その他** (前年同期比 +10.0%)
自動車向けのアルミニウム電解コンデンサが増加。

■ コンデンサ ■ フェライト及び応用製品 ■ 複合デバイス ■ その他

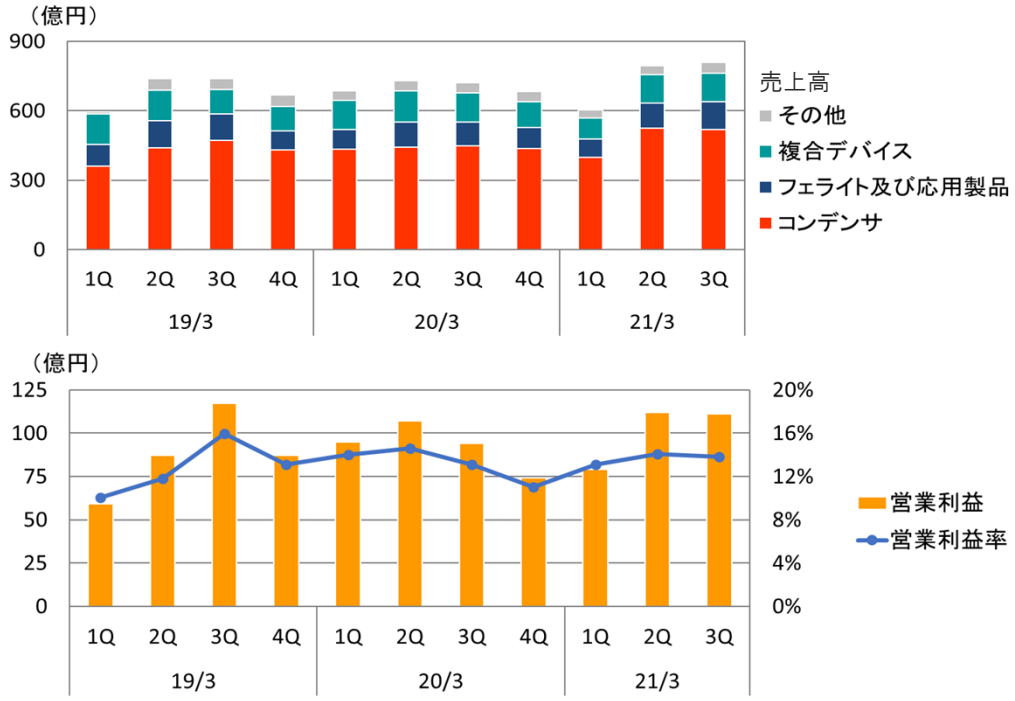
©TAIYO YUDEN 2017

# 連結業績推移(四半期)

| 百万円 | 2019年3月期 | | | | 2020年3月期 | | | | 2021年3月期 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 売上高 | 59,576 | 73,989 | 73,963 | 66,820 | 68,635 | 73,272 | 72,187 | 68,233 | 60,493 | 79,728 | 81,226 |
| コンデンサ | 36,184 | 43,984 | 47,362 | 43,101 | 43,338 | 44,473 | 44,907 | 43,738 | 40,075 | 52,596 | 51,895 |
| フェライト及び応用製品 | 9,228 | 11,926 | 11,209 | 8,231 | 8,633 | 10,742 | 10,303 | 9,090 | 7,928 | 10,903 | 12,230 |
| 複合デバイス | 13,208 | 13,160 | 10,783 | 10,778 | 12,523 | 13,436 | 12,621 | 11,226 | 9,075 | 12,330 | 12,311 |
| その他 | 954 | 4,918 | 4,607 | 4,708 | 4,139 | 4,620 | 4,354 | 4,178 | 3,413 | 3,899 | 4,788 |
| 営業利益 | 5,981 | 8,722 | 11,789 | 8,744 | 9,595 | 10,703 | 9,446 | 7,431 | 7,923 | 11,203 | 11,199 |
| 経常利益 | 6,896 | 8,489 | 11,403 | 7,562 | 8,846 | 10,330 | 9,152 | 6,835 | 7,371 | 10,812 | 11,422 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 5,645 | 5,334 | 9,069 | 3,638 | 7,151 | 8,180 | 4,666 | △1,975 | 4,541 | 6,900 | 8,383 |
| 対米ドル期中平均レート | 107.76円 | 110.84円 | 112.71円 | 110.64円 | 110.95円 | 107.58円 | 108.17円 | 109.54円 | 107.61円 | 106.82円 | 105.15円 |

©TAIYO YUDEN 2017

# 連結業績推移(四半期)



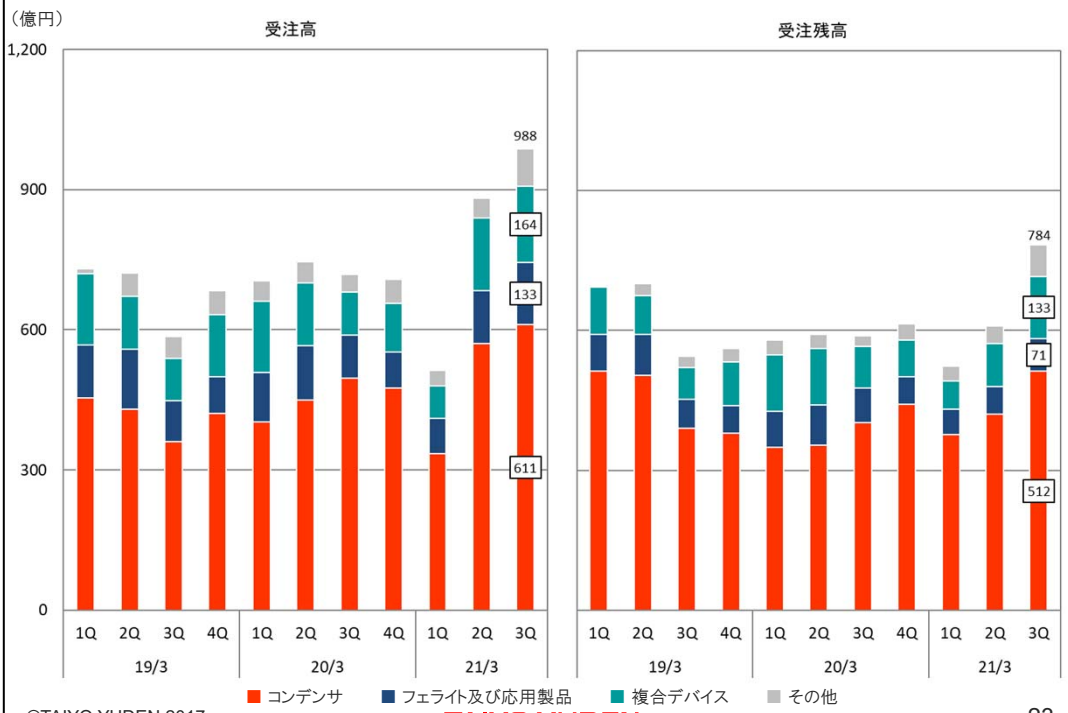




©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

# 受注高･受注残高推移（四半期）




©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことからも、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

©TAIYO YUDEN 2017